

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋排気設備における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：4/27)

採取場所	2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ入口)		2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ出口)		②告示濃度限度* (Bq/cm ³)
試料採取日時刻	2017年4月7日 12時07分～14時04分		2017年4月7日 12時28分～14時28分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	8.5E-07	0.00	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.8E-06	0.00	ND	-	3E-03

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第2第四欄：放射線業務従事者の呼吸する空气中の濃度限度)

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ O. OE-Oとは、O. O × 10^{-O}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
2号機原子炉建屋排気設備（排気フィルタ入口）における検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。
粒子状のI-131が約9E-8Bq/cm³。
2号機原子炉建屋排気設備（排気フィルタ出口）における検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約8E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。
粒子状のI-131が約6E-8Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。